

事業所火災が多発しています

～春先は乾燥・強風により火災が拡大しやすい時期です～

春先は空気が乾燥し、風が強まる日も多く、火災が発生した場合には瞬く間に延焼拡大し、被害が甚大となるおそれがあります。ひとたび火災が発生すれば、人的被害のみならず、事業継続に重大な影響を及ぼします。

各事業所におかれましては、次のことに留意の上、自主点検の実施及び従業員への周知徹底を図り、火災予防対策を一層強化していただきますようお願いいたします。

1



電気火災防止

- 分電盤・コンセント周辺の清掃を実施する
- たこ足配線・過負荷使用の防止
- 経年劣化したコードの交換
- 仮設配線の長期使用をしていないか確認する
- 退勤時の電源遮断を確認する
- 異常発熱・焦げ臭さを感じたら直ちに使用を中止する

2



放火対策

- 建物周囲に可燃物（段ボール・廃材等）を放置しない
- 施錠管理の徹底
- 夜間照明・防犯設備の点検
- 車両内に可燃物を放置しない

3



リチウムイオン電池による火災に注意

- 衝撃・落下・圧迫を加えない
- 膨張・変形・異臭・発熱があるものは使用しない
- 純正品以外の充電器を使用しない
- 可燃物の近くで充電しない
- 充電中は長時間放置しない
- 保管は高温多湿を避ける

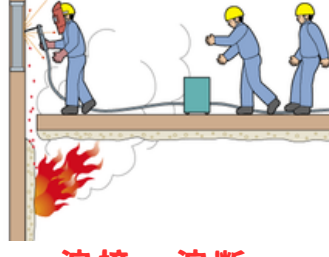
4



焼却炉等の取扱い

- 強風時は焼却しない
- 焼却中はその場を離れない
- 消火器・水バケツ等の消火用具を準備する
- 焼却後は完全に消火したことを確認する

5



溶接・溶断 グラインダー作業等による火災防止

- 作業前に周囲の可燃物を除去する
- 火花養生シート等を使用する
- 消火器・水バケツ等の消火用具を準備する
- 作業中は監視員を配置する
- 作業終了後も一定時間、残火確認を実施する

6



危険物等の適正管理

- 必要量以上の危険物を貯蔵しない
- 容器の破損・腐食・漏えいの確認
- 換気を確保する
- 静電気除去対策を実施する
- 危険物取扱者の立会いを徹底する
- 木材等は集積単位間の距離を確保する
- 木材等の置場ではみだりに火気を使用しない

お問合せ

嶺北消防本部予防課

電話：0776-51-8435

メール：yobou@reihoku-fd.jp